

大西さとし

市政レポート 令和6年度 第4回 9月定例会



「人」が輝き、
「まち」が輝く
「輝く創造都市、高松」

HPやFacebookでも情報発信中!!

連絡先

〒760-0080 高松市木太町1849-1-602
TEL 090-8696-1730



←HP
Facebook→



Report 報告 1

9月4日から24日までの21日間の日程で、令和6年第4回定例会（9月議会）を開催し、令和6年度一般会計補正予算など15議案を可決し、議員提出議案5件を否決したほか、陳情3件を不採択としました。また、人事案件5件に同意しました。なお、私自身本議会において代表質問を行い市政全般について質しました。



代表質問の動画

令和6年度 9月補正予算の特色

(1) 政策課題に対応するための事業実施 (約0.7億円)

- ・災害時緊急物資備蓄事業費
- ・創造都市推進事業費
- ・地域包括支援センター運営事業費
- ・サンポート地区周辺再生推進事業費
- (2) 補助認証・制度の創設に伴う事業の実施 (約1.2億円)
- ・放課後児童クラブ管理運営費
- ・再生可能エネルギー普及促進費
- ・常備消防運営事務費
- ・消防団消防活動費

(3) 当初予算編成後における情勢変化等への適切な対応 (約4.1億円)

- ・税金帳票作成業務委託料
- ・戸籍事務費
- ・住民基本台帳事務費
- ・斎場公園管理費
- ・脱炭素化推進事業費
- ・農村公園等施設費
- ・企業誘致推進費
- ・瀬戸内国際芸術祭費
- ・中心市街地活性化対策事業費
- ・小学校施設老朽化対策事業費

(4) 県施行建設事業等に対する地元負担金の措置 (約4.3億円)

- ・国、県が令和6年度に実施する事業に対し、地方財政法等の規定に基づき、地元負担金を措置するもの

令和5年度 決算見込みの概要

(1) 一般会計の概要

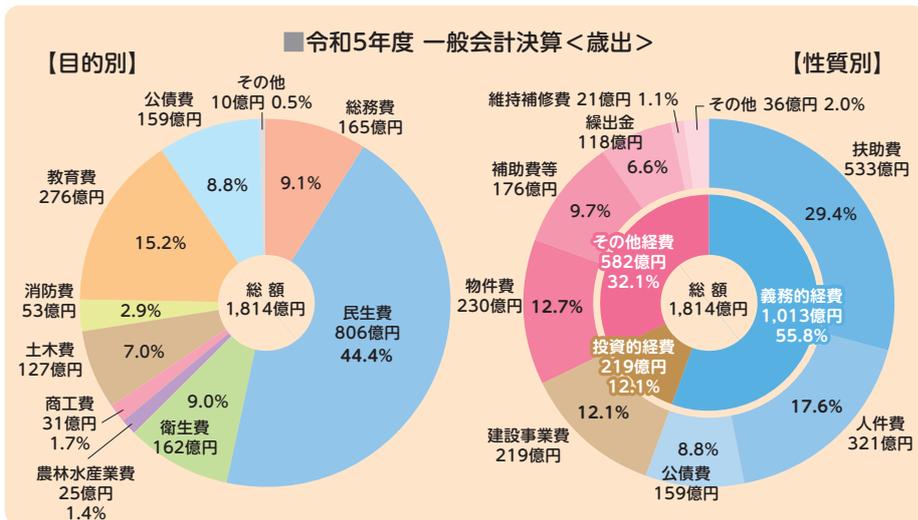
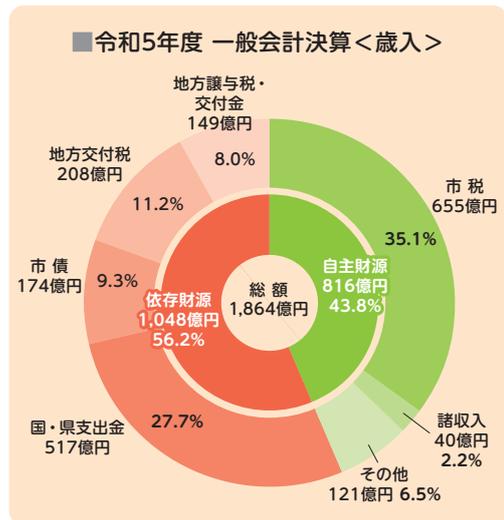
- ・令和5年度の一般会計歳入決算総額は約1,864億円、歳出決算総額は約1,814億円で、歳入・歳出とも3年ぶりの増
- ・歳入総額から歳出総額を差し引き、そこから翌年度へ繰り越す事業の財源を除くと約44億円

(2) 一般会計の特徴

- ・決算規模は、歳入・歳出とも3年ぶりの増（過去3番目）
- 【R4】歳入／約1,784億円
- 歳出／約1,736億円
- ・実質収支は、約44億円（6年連続の増）
- 【R4】約39億円、【R3】約38億円
- ・プライマリバランスは、約35億円の黒字（6年連続の黒字）
- 【R4】約92億円、【R3】約29億円
- ・市債残高（臨時財政対策債を除く）は、前年度末に比べ約57億円の増
- ・財源対策基金残高は、4年連続の増加で、前年度末に比べ約12億円の増
- （財政調整基金は約6億円の増）

(3) 特別会計の概要

- ・競輪や介護保険事業など全9会計。全体で収入済額から支出済額を差し引き、そこから翌年度への繰越し財源を除く実質収支は約11億円の黒字。
- 歳入／約1,224億円
- 歳出／約1,213億円



質問および答弁の概要

行財政について

Q ふるさと納税の実績に対する受け止めと、寄附額の増加に向けた取組への考え方

A 令和5年度の寄附金額は、約11億4千万円と過去最高額となった。一方で、本市市民が他自治体へ寄付した際の市民税控除額は、約13億7千万円と、これも過去最高となったところであり、ふるさと納税制度の認知度が高まり、全国的に多くの方に利用されていることについては意義あるものと認識している。

本市ではこれまで、「高松ごじまん品の野菜や果物の種類を拡充するほか、市内の宿泊施設で利用できるクーポンや、「旅先納税」の電子商品券である「SET OCO」など、旅行関連の返礼品を充実させているところである。

また、今月28日及び29日に東京ビックサイトで開催される「ふるさと応援フェスタ」に参加するなど、プロモーションにも積極的に取組んでいる。

今後においても、魅力ある返礼品の開拓や効果的なPRに努め、より多くの方に応援していただけるよう取組んでまいりたい。

安全・安心について

Q 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表に対する対応の状況と、今後に向けた取組

A 「南海トラフ地震臨時情報」は、地震の規模等に応じ、災害への対応が必要なものとして、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」があり、今回は「巨大地震注意」であったため、地震発生の翌日、災害対策

本部員等による連絡会議を開催し、情報共有と注意喚起を行ったほか、市民の皆様に対しては、ホームページなどにより、日頃の地震への備えを再確認するとともに、一定期間、地震発生に注意しつつ、日常生活を行っていただくよう周知したところである。

「巨大地震警戒」が発表された際の対応も意識しておくことはもとより、今後、国等においてまとめられる検証も踏まえ、「高松市地域防災計画」に規定している「南海トラフ地震防災対策推進計画」についても、必要に応じた見直しを行うなど、大規模災害は必ず起こり得るという認識の下、防災・減災のための備えに取組んでまいりたい。

Q 救急搬送「たかまつホットLINE」を活用して、「救急隊ひつ迫アラート」のような情報をプッシュ型で周知し、併せて救急車の適正利用を発信する考え

A 「救急隊ひつ迫アラート」については、救急搬送体制の逼迫した状況を、市民の皆様にお知らせするとともに、救急車の到着に時間を要する場合がありますことなどをご理解いただくために、発信するものであり、近年の救急出場件数の増加等に伴い、逼迫した状況が少なからず発生している本市においても、改善に向けた効果が期待できるものと存じている。

また、救急車の適正利用については、119番通報時等に、救急電話相談や救急診断アプリの活用を促すほか、講習会等、様々な機会をとらえて、周知啓発に努めているところであるが、ご提言の「救急隊ひつ迫アラート」を合わせて、救急車の適正利用をプッシュ型で発信することにより、より効果的な周知啓発が期待できることから、できるだけ早期に、

導入してまいりたい。

子育て支援について

Q 保育士の配置基準の見直しへの対応も踏まえ、年度を通じた待機児童解消の達成に向けた決意

A 本市ではこれまで、保育所の新設等による受け皿確保や、独自の保育士確保策などに取組むことで、待機児童数が、ピーク時に比べ、大幅に減少しているものの、年度末にかけて、待機児童が発生しているところである。

このような中、国においては、保育士の配置基準の見直しや、「こども誰でも通園制度」の実施に向けた検討を進めており、更なる保育士の確保が重要な課題となっている。

このため、本市では、今年度、新たな保育士確保策として、県の保育士人材バンクを活用した潜在保育士への就職一時金の支給や、国の補助事業を活用した、保育現場のICT化を推進するための助成に取組んでいるところである。

引き続き、国の動向を注視するとともに、県とも連携を図り、保育士確保に努めるなど、各種対策に、鋭意、取組みながら、できる限り早期の、年度を通じた待機児童の解消を目指してまいりたい。



Colum コラム

南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で情報発表されます。

気象庁において、マグニチュード6.8以上の地震等の異常な現象を観測した後、5〜30分後に南海トラフ地震臨時情報(調査中)が発表されます。その後、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の臨時会合における調査結果を受けて、該当するキーワードを付した臨時情報が発表されます。

政府や自治体から、キーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとっていただくこととなります。

皆様の「命」と「くらし」を守るため、「南海トラフ地震」はもとより、激甚化する様々な災害への備えについて、全力で取組んでまいりたいです。

大西 智

南海トラフ地震臨時情報

発表条件
■南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
■観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

| | |
|--------|---|
| 調査中 | ■観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 |
| 巨大地震警戒 | ■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合 |
| 巨大地震注意 | ■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合 |
| | ■想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 |
| | ■ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合 |
| 調査終了 | ■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合 |